

## 屋内・屋外スポーツ施設現況調査結果について

### 1. 調査の概要

本調査は、市民の健康志向の高まりや施設の老朽化など、スポーツ施設を取り巻く環境の変化を踏まえ、市内各スポーツ施設の現状と課題を把握・分析するとともに、将来にわたり安心・安全なスポーツ環境を維持していくための今後の施設のあり方や施設整備方針を検討するための基礎資料を得ることを目的に実施したものです。

- (1)調査対象 市内全50施設(主たる対象30施設、補完施設20施設)
- (2)調査期間 令和7年6月18日 ～ 令和7年12月15日
- (3)受託業者 株式会社 環境緑地研究所

### 2. 現状における主な課題(調査結果)

- (1)施設の老朽化と更新コスト
  - ・既存施設の多くが供用開始後30年以上を経過し、特にプールは築40年超が多く、今後も設備機器の更新が考えられる。
  - ・現状の維持管理費は約1.6億円(令和6年度)であり、将来的なさらなる財政負担の増大が懸念される。
- (2)利用ニーズとの整合性
  - ・団体競技人口は減少傾向にある一方、個人・健康増進ニーズは増加している。
  - ・少年野球においては、練習場不足により専用球場の整備要望が高い。
- (3)拠点施設の不在
  - ・他市のような総合的な運動公園がなく施設が分散しており、管理効率及び利便性が比較的低い。

### 3. 今後の施設のあり方(受託事業者により示された方向性)

調査分析及び課題抽出の結果を踏まえ、持続可能な施設運営に向けた再編の方向性が示されました。

- (1)基本方針
  - ・現状の分散配置から、統廃合をする等で拠点集約型への転換を検討。
  - ・民間活力(PPP/PFI)の導入による財政負担の平準化とサービス向上を検討。
- (2)主要施設の方向性(案)
  - ①体育館・プール : 将来的に拠点エリアへ集約し、複合・多機能化を検討。
  - ②野球場 : 既存の野球場を一部少年野球専用への機能転換を検討。
  - ③冬季施設 : スキー場やスケート場の冬季施設について、集約の検討や民間活力の導入可否を調査。
  - ④パークゴルフ場 : 利用の少ないコース等の廃止・集約による総量適正化を検討。

### 4. 今後の予定

本調査結果及び方向性を参考に、次年度以降「スポーツ施設整備計画(仮称)」の策定を進めます。